

第10回進化経済学会北海道（北海道大学）大会プログラム

開催日時：2006年3月25日(土)–26日(日)

開催場所：北海道大学人文社会科学総合教育研究棟

3月25日（土曜日）

8:30-9:00 受付（W棟2階）

9:00-10:30-----

マルチ・エージェント・シミュレーション（W203：会場A）

- ・大東正虎(関西大学大学院社会学研究科), 村上雅俊(関西大学大学院経済学研究科), 谷田則幸(関西大学経済学部)
ICタグ導入による防災施策の提言と効果の検証(A-1-1) 1
- ・澤宏司, 郡司ペギオー幸夫（神戸大学）
対話と因果律(A-1-2) 10
- ・生天目章(防衛大学校情報工学科)
個人合理性の代償(A-1-3) 20

進化と経済思想（W201：会場B）

- ・戸田宏治（福岡大学）
「法と経済学」の進化思想－アルチアンの「最大化論争」に関連して(B-1-1) 30
- ・吉野裕介（京都大学）
1983年のハイエクと「双子の観念」について－ハイエク文庫の調査から（B-1-2） 40
- ・吉田昌幸（北海道大学大学院経済学研究科）
経済現象としての企業家活動:企業家的機会から企業家活動をとらえる試みとして(B-1-3) 50

制度と知識（W202：会場C）

- ・水口雅夫（九州産業大学）
知識経済と経済進化の接続点(C-1-1) 60
- ・小山友介（東京工業大学）
家庭用ゲーム産業の開発効率についての一考察－発売延期率分析－（C-1-2） 63
- ・香村由紀
物理作用とモンタギュー文法による経済モデル－ケネーの問い－（C-1-3） 73

10:40-12:10-----

制度と政策 (W203 : 会場 A)

- ・水口雅夫 (九州産業大学)
コーポレート・ガバナンス論と企業・経済の関係(A-2-1) 83
- ・小田志保 (北海道大学大学院農学研究科)
農業政策転換の成果ードイツ・日本における農協に関する取引費用アプローチ(A-2-2) 91
- ・舛田佳弘 (北海道大学大学院経済学研究科)
移行経済論における漸進主義の再考(A-2-3) 101

社会経済の進化 (W201 : 会場 B)

- ・萩本眞一郎 (東京国際大学)
組織 (企業) 進化についての実証的アプローチ
ー日本の紡績企業とイギリスの紡績企業における収獲逡増と経路依存の比較分析(B-2-1) 111
- ・横川信治 (武蔵大学)
政治経済学の新しい理論的枠組みーマルクス経済学と進化経済学の統合は可能か? (B-2-2) 118
- ・谷口和久 (近畿大学経済学部)
社会進化の駆動因に関する一考察ー生物進化の帰結と社会進化ー (B-2-3) 128

社会経済実験 (W202 : 会場 C)

- ・小山友介 (東京工業大学)
U-Mart ヒューマン実験から得られるもの(C-2-1) 136
- ・清水和巳 (早稲田大学政治経済学部)
「価値感情」と懲罰ー経済行動の実験アプローチによる分析ー (C-2-2) 146
- ・島岡光一 (埼玉大学教育学部)
子どもの遊びに見られる信頼・規範・慣習の形成論(C-2-3) 156

13:30-15:00-----

Uマートプロジェクト (W203 : 会場 A) --企画セッション

- ・U-Mart チュートリアル・セッション(A-3)
「薄い板の市場研究に向けて：オープン・プロブレムとザラバ版 U-Mart システム」 166
- 矢和田高大 (徳島大学), 小野功 (東京工業大学), 塩沢由典 (大阪市立大学), 谷口和久 (近畿大学), 中島義裕 (大阪市立大学), 小山友介 (東京工業大学), 喜多一 (京都大学), 佐藤浩 (防衛大学校), 森直樹 (大阪府立大学), 松井啓之 (京都大学), 寺野隆雄 (東京工業大学), 出口弘 (東京工業大学)

1) 板の薄い市場の研究とオープン・プロブレムー報告者：中島義裕

- 2) ザラバ版 U-Mart システムの紹介－報告者：矢和田高大、小野功
 3) コースウェアとしての利用法－報告者：谷口和久

構造変化と技術革新 (W201: 会場 B)

- ・吉井哲 (北海道大学大学院経済学研究科)
 Sraffa の結合生産体系における技術選択と需要の役割
 – Multiple-self(多次元的な自我)ならびに Human Behavior に関して – (B-3-1) 169
- ・松前龍宜 (東京工業大学)
 選好の序列と構造変化 飽和需要は本質的な仮定か? (B-3-2) 179
- ・有賀裕二 (中央大学商学部)
 EVOLUTION OF UTILITY THEORY FOR HETEROGENEOUS-INTERACTION
 AND COORDINATION IN TERMS OF DISCRETE CHOICE MODELS (B-3-3) 188

経済物理学 I (W202: 会場 C) --企画セッション

- ・佐藤彰洋, 大城純平 (京都大学大学院情報学研究科)
 外国為替市場の高頻度時系列の周波数分析(C-3-1) 198
- ・田中美栄子 (鳥取大学工学部知能情報工学科), 徳岡聖二 (鳥取大学大学院工学研究科知能情報工学専攻)
 人工市場とマイノリティーゲーム (Artificial Markets and the Minority Game) (C-3-2) 203
- ・渡辺広太 (東京工業大学大学院総合理工学研究科), 高安秀樹 (ソニーコンピュータサイエンス研究所), 高安美佐子 (東京工業大学大学院総合理工学研究科)
 指数発散を伴う変動に対する非定常成分の分離(C-3-3) 211

16:20-17:50-----

コンヴァンションの経済学 (W203: 会場A) --企画セッション

- ・立見淳哉 (名古屋大学大学院環境学研究科)
 コンヴァンション経済学と産業集積
 – スーパーとサレの「生産の世界」論を中心に – (A-4-1) 220
- ・須田文明 (農林水産省農林水産政策研究所), 海老塚明 (大阪市立大学大学院経済学研究科)
 モノの試験と正当化 – ボルトンスキとテヴノの場合 – (A-4-2) 230
- ・荒川章義 (九州大学大学院経済学研究院)
 制度の経済学の中におけるコンヴァンションの経済学の位置(A-4-3) 240

イノベーション (W201: 会場B)

- ・河又貴洋 (県立シーボルト大学)
 情報通信分野の技術融合と業際競合
 – モバイル通信ビジネスをめぐる企業の「求心力」と「遠心力」 – (B-4-1) 244

- ・弘岡 正明 (テクノ経済研究所)
イノベーションのフラクタル構造：離散系軌道形成とインフラ構造への進化(B-4-2) 254
- ・泉宏明 (広島 Elpida)
プロセスイノベーションと貨幣
ーケインズ経済学とシュンペーター経済学の融合を目指してー (B-4-3) 264

経済物理学Ⅱ (W202：会場C) --企画セッション

- ・増川純一 (福山平成大学経営学部経営情報学科)
連続オークション市場における価格変動分布と模倣的 Limit order モデル(C-4-1) 274
- ・水野貴之 (東京工業大学大学院総合理工学研究科), 高安秀樹 (ソニー・コンピュータ・サイエンス研究所), 高安美佐子 (東京工業大学大学院総合理工学研究科)
金融時系列に潜む中心力ポテンシャル(C-4-2) 281
- ・家富洋 (新潟大学自然科学系), 青山秀明 (京都大学大学院理学研究科),
池田裕一 (株式会社日立総合計画研究所), 海蔵寺大成 (国際基督教大学教養学部),
相馬亘, 藤原義久 (ATR ネットワーク情報学研究所)
エージェントモデルを用いた企業ダイナミックスの統計物理学的研究(C-4-3) 290

3月26日 (日曜日)

9:00-10:30-----

制度設計とガバナンス (W203：会場A)

- ・井出明 (近畿大学)
知的財産のパブリックドメイン化と地域振興(A-5-1) 300
- ・後藤玲子 (茨城大学)
分権的な地域産業政策と地域の内発的発展(A-5-2) 305
- ・田中秀幸 (東京大学)
電子自治体投資が地域の経済発展に及ぼす影響に関する研究(A-5-3) 315

地域通貨の実証分析と政策展望 (W201：会場B) --企画セッション

- ・吉地望 (北海道大学大学院工学研究科), 西部忠 (北海道大学大学院経済学研究科)
地域通貨流通ネットワーク分析(B-5-1) 317
- ・草郷孝好 (大阪大学大学院人間科学研究科)
苫前町地域通貨の社会変容調査の進化経済における意味(B-5-2) 327
- ・西部忠 (北海道大学大学院経済学研究科)
地域通貨の政策思想(B-5-3) 337

国境を越える地域経済ガバナンス I (EU を例として) (W202 : 会場C) --企画セッション

- Luis Alberto Di Martino (Hagoromo University)
A review of theoretical approaches to governance and cross-border governance in the European Union (C-5-1) 347
- Lluís Valls (Ritsumeikan University)
Business Cross-border Cooperation in the Euroregion Galicia -Norte de Portugal and its Difficulties (C-5-2) 357
- 清水耕一 (岡山大学)
フランス・ベルギー国境地域における INTERREG プログラムの進化 (C-5-3) 367

10:40-12:10-----

招待講演 (W203 : 会場A)

10:40-11:20

- Steve Fleetwood
“Institutions and Social Structures” (A-6-1) 377

11:20-11:50

- Samuel Bowles
“The Co-evolution of Individual Preferences and Social Institutions” (A-6-2) 387

11:50-12:10 Discussion

14:30-16:00-----

制度進化への経済史的アプローチ フィランソロピーの進化 (W203 : 会場A) --企画セッション

- 栗田健一 (北海道大学大学院経済学研究科)
草稿スキームにおける地域経済の再生構想
—C.H.ダグラスの経済思想再考— (A-7-1) 394
- 宮腰英一 (東北大学)
19 世紀イギリスの基金立学校改革とチャリティ (A-7-2) 404
- 長谷川貴彦 (北海道大学文学部)
博愛主義的団体と社会改革—19 世紀初頭イングランドの国家と社会— (A-7-3) 405

自由論題 (W201 : 会場B)

- 中島義裕 (大阪市立大学), 塩沢由典 (大阪市立大学), 谷口和久 (近畿大学),
小野功 (東京工業大学), 森直樹 (大阪府立大学)
簡易マーケット・メーカー・プログラムが提供する流動性 (B-7-1) 409

- ・栗濱竜一郎（広島経済大学経済学部）
 監査理論と信頼関係－利用者の視点－(B-7-2) 417
- ・瀬島誠（大阪国際大学），藤本茂（防衛大学校）
 地域統合に関するシミュレーション分析 (B-7-3) 427

国境を越える地域経済ガバナンスⅡ（EUを例として）（W202：会場C）--企画セッション

- ・長岡延孝（同志社女子大学）
 北欧における越境地域協力の多様性
 －リージョナリズムの新類型か？ 新段階か？－(C-7-1) 437
- ・正木響（金沢大学経済学部）
 国境を越える地域経済－EUと地中海南側諸国を中心に－(C-7-2) 446
- ・住沢博紀（日本女子大学）
 国境を越えるユーロ・リージョンの実態と可能性－旧東独・ポーランド・チェコ3カ国地域の
 国境を越えるガバナンスを例に－(C-7-3) 456

16:10-16:40-----

次期会長講演（W203：会場A）

- ・八木紀一郎
 マルクス＝ヴェーバー問題の進化論的転回
 （An Evolutionist Turn of the Marx-Weber Problems）(A-8) 464

16:40-17:00-----

閉会の挨拶 W203：会場A）

* ポスターセッションはA会場前廊下で行います。25日の正午までに設置，26日の午後4時までに撤収します。その間，常設している状態になります。また，25日の15:10－16:10に発表の時間が用意されています。